

こんにちは 森林官です!

網走南部森林管理署
砥草原森林事務所
森林官 村辺 寿宏



中央が筆者

オホーツクの国有林

砥草原(とくわはら)森林事務所が所在する小清水町は、北海道北東部のオホーツク総合振興局管内の南側に位置しています。

オホーツク海に面した網走国定公園の止別(やんべつ)海岸防災林を始めとした国有保安林エリア、藻琴山自然休養林を含む阿寒・摩周国立公園エリア迄の砥草原・小清水森林事務所管内11,367ヘクタールの国有林が森林事務所の管理区域です。

地域関係者とともに

小清水原生花園は、小清水町のオホーツク海と瀧沸湖(とつふつこ)に挟まれた国道244号線沿いに位置し、全長8km(面積275畝)の細長い砂丘上にある国有保安林エリアです。

この小清水原生花園は網走国定公園に指定されており、次の世代に引き継ぎたい北海道の宝物として「北

海道遺産」にも指定されました。

同原生花園では今から30年前前に、厳しい気象条件に加えて外来種や帰化植物の繁茂により貴重な草花が衰退する傾向が見られたことから、平成5年から植生回復に取り組んでいます。



地域関係者との火入れ
(毎年5月初旬に実施)

具体的には、オホーツク総合振興局と小清水町、地元消防や消防団、当署の若手職員が中心となり、総勢約100名で融雪後の早春に砂丘の原野部に火入れを行い枯草や牧草などを焼いて花の咲く環境を整えています。夏には約40種類の魅力的で美しい花(ハマナス、エゾスカシユリ、エゾキスゲなど)の絨毯が広が

ります。また、夏の終わりには砂丘の清掃活動や秋には外来種や帰化植物の除去等、花園回復の活動にも取り組んでいます。



地域関係者との外来種や
帰化植物除去

森林事務所の仕事

森林官の仕事は、森林の整備計画を立てるための地況・林況等の各種調査業務や風倒木、崩土、落石など林道施設等の被害の確認、国有林と民有地との境界管理、各種請負・委託事業の監督、林道・作業道の維持・管理と多岐にわたります。また、昭和12年(1937年)にヤチダモを植栽して第一歩を踏み出した止別海岸防災林造成は、植物の生育に適さない土壌と強風にさらされる厳しい自然条件



↑成林した
海岸防災林



↑造成中の海岸防災林

のもと、住宅や鉄道、道路、農地などへの潮害、飛砂、風害などの被害を防止又は軽減させることを目的として、これまで71ヘクタールの海岸の緑化を終えており、今も過酷な条件への挑戦は営々として続いています。

終わりに

海岸防災林や防風林、藻琴山自然休養林など特色のある国有林の中で森林官を務めさせて頂けることに幸せを感じております。

それぞれの森林がもつ機能が十分に発揮できるよう日々、山を観察し続け、適切なタイミングでの施業を実施していきます。